

日 時:2024 年 7 月 16 日(火曜日)18:10~19:20

会 場:中央区京橋区民館にて Hybrid 開催 (Zoom 関西委員会)

<出席状況:敬称略、順不同>

会場出席 :嶋、渡辺、及川、島田、小林(義)、小林(浩)、堤、中村 (8 名)

Zoom 出席:今田、橋本、友滝、崎尾、下村、高橋、北島、野田、岡、中山 (10 名)

欠席(委任):平田、清水、竹内、成田、高畑、山本、小谷 (7 名)

議 事:議事進行は前回に引き続き事務局今田が進行

※本議事録は会員専用のホームページにアップされますので、概要を理解いただくために理事会で使用した説明資料の PPT の内容と重複する記述がありますが、ご了承下さい。(今回 PPT は議事録に添付します)
また、理事会後にアクションがあった内容は青文字で記入しています。

<議事内容>

(1)2024 年度委員会活動状況報告 (2024.4.~2024.7.)

【事務局】

2024 年度は理事会を中央区京橋区民館を対面会場として Hybrid で開催することを基本とする。

【展示委員会】【未来包装研究委員会】

TOKYO PACK 2024 は 2024 年 10 月 23-25 日で開催されるが、展示委員会からは「テクニカルセミナー」、未来包装研究委員会からは「包装力向上セミナー」の企画を進める。詳細は次項(2)に掲載。

【情報委員会】

(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」原稿手配。5, 6, 7 月号発刊済み。8 月号 JPI へ入稿済。

【関西委員会】

・2024 年度理事会開催予定: 5/23(済)、11/20(水)、2/19(水) 会場:大阪市立青少年センター Hybrid

ミニセミナー: 5 月、11 月、2 月(理事会開催日に実施) 見学会は9月下旬予定

※決算理事会は翌年度(2025 年度)予算にて開催する。(3 月又は 4 月開催)

・2024 年度第 1 回専士会関西ミニセミナー 実施。講師:平田委員長

テーマ:「軟包装3:機能について(易開封性、電子レンジ対応)&クレーム削減事例について」

【セミナー委員会】

2024 年度の「包装技術セミナー」、「Packaging-Workshop」の企画を鋭意検討中。

(2)東京パック 2024 の専士会企画 【展示委員会】【未来包装研究委員会】

①「テクニカルセミナー」について (詳細は PPT 参照)

包装4団体での共同企画で専士会からも4名の講師を決定、依頼済み。

松井幸一郎氏(オハヨー乳業)、石塚義夫氏(石塚包装設計・開発事務所)

佐藤久朗氏(三菱商事パッケージング)、野田貴治氏(日本製紙)

②「包装力向上セミナー」紹介(詳細は PPT 参照)

マシンガンズ滝沢氏、大学生、とのコラボセミナーを実施することで進めている。

大学生は「東京農工大学」「日本女子大学」「東京大学」の各環境包装関連サークルのメンバー。

出席に際しては費用が発生するが、JPIと専士会で応分の負担をする。

③包装専士会ブースでのパネル掲示について

未来包装研究委員会活動の成果物:パネル7~8枚(案)

展示委員会専士会活動の紹介:パネル7枚+年表4枚(案)

パネル作成費用が10枚で10万円の見積であるが、JPIとの調整が必要。(窓口:下村委員長)

パネル原稿の締切りは最遅で9月30日、できればその1週間前までに提出のこと。レイアウト等の検討を進めることができるので、できた原稿から提出していただきたい。(高橋理事)

(3)2024年度日本包装専士会検討課題

来年の第36回総会をにらんで本年度末までに検討を進めておく専士会の課題について列挙した。

本日は項目のみの紹介であるが、理事会毎に議論をすすめていく。

- ①展示委員会:2年毎に開催される東京パックのため繁忙となる年とそうでない年がある。繁忙期に人員も含めて助成をする仕組みが必要ではないか。
- ②事務局(会計):事務局会計担当が会社業務多忙になり、専士会会計業務の移管を検討したい。
- ③事務局(事務):新型コロナ感染が通常化し、対面の活動が増え、地理的に不利な事務局長の交代も含めて、事務局の機能強化/合理化を行ない、各委員会とのより良い連携をめざす。
- ④事務局(事務):包装専士会理事が本年度2名減となり、補充リクルートを進める。

候補案:松井幸一郎氏(オハヨー乳業)

宮川 匠氏(東洋インキ)~2024年度専士講座受講中。

*宮川氏については未来包装研究委員会への協力者として本年度から声かけしていく。

(4)2024年度専士会新入会員(PPTリスト参照)

2023年度包装専士講座修了者5名、通常入会者1名、6月末までに届け出があった。

ホームページの会員専用パスワード等、連絡済み。通常入会は入会金、年会費は受領済。

(5)JPI「包装技術」記事紹介と掲載予定

①本年度4~8月号の記事を紹介。(PPT参照)

②今後の予定について出席者からのアイデアを募った。

・9月号、10月号は東京パック2024の専士会の「テクニカルセミナー」「コラボセミナー」を掲載する。(決定)

JPIの掲載内容と被らないか?⇒被らないことを確認した。(高橋理事:JPI「包装技術」編集委員)

・コラボしている大学生サークルの活動紹介はどうか。

・包装専士会メンバーの個人活動の紹介。(海外視察報告、包装関連活動等)

*これは専士会がどのような活動しているのか、団体の顔が見えない等の外部意見に応える意味もある。

HPで直接に動画を紹介することは容量の関係でできない。YouTubeを利用してリンクさせる等の手段が必要。

<理事会後、堤委員長による調査結果>

上記意見を踏まえ7月18日にアンサングと打合せを行い、「会員専用」のページを個人活動が投稿できる(「お知らせ」と同じような)レイアウトに改造をした場合の見積が¥66,000-又は¥99,000-となる(テストページの作成有無で変動)。改造時に投稿カテゴリーの変更(追加)することを依頼した。次回理事会で審議したい。(情報システム委員会)

次回理事会の議題としてホーム改造の是非と、改造になった場合には投稿の募集と動画サイトの選定を盛り込みたいと思います。

(動画投稿サイトはこちら側で登録しリンクを貼り付ける形になります。)

(6)その他

・次回理事会は9月17日(火)18時から開催する。Hybrid。

・8月8日(火)14～16時 JPI WEB フォーラムで島田理事が講師を勤める。

「Hispack2024(バロセルナ国際包装展)包装視察団報告」資生堂 熊坂氏と共同。

以上